

# プログラム

口 演 演 題

ポ ス タ ー 演 題

Student-Resident Poster 演題

◎ 優秀演題賞 最終候補演題

⊙ 優秀ポスター賞 受賞演題

☆ ANZBMS Travel Award 受賞演題



# 口 演 演 題

(p.143)

第 1 日 7 月 26 日 (木) 午前

第 3 会場 (長崎新聞文化ホール 珊瑚の間)

口演 01 骨形成・シグナル伝達 9:10 ~ 10:40

座長: 松尾 光一 (慶應義塾大学 医学部)

片桐 岳信 (埼玉医科大学ゲノム医学研究センター 病態生理部門)

- ◎ O-01 TGF- $\beta$  ファミリーは Wnt シグナルを介して内軟骨性骨化を制御する  
塚本 翔 (埼玉医科大学ゲノム医学研究センター 病態生理部門)
- O-02 骨粗鬆症克服を目指した転写因子 RUNX2 活性化メカニズムの解明  
松本 佳則 (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学)
- O-03 間葉系細胞由来 TRPM7 による骨格形成制御  
進 正史 (福岡歯科大学 細胞分子生物学講座 細胞生理学分野)
- O-04 骨密度の高い骨は II 型コラーゲンを産生する「超石灰化骨芽細胞」によって作られる  
黒田有希子 (慶應義塾大学医学部 細胞組織学研究室)
- ☆ O-05 Cdc42 は出生後の血管形成および血管を介した骨形成に重要な役割を果たしている  
吉田 優子 (昭和大学歯学部 口腔生化学講座)
- O-06 骨形成促進剤を担持した PLLA ナノシートによる長管骨骨欠損治療の検討  
村橋 靖崇 (東京大学大学院 医学系研究科 整形外科)
- O-07 ターゲットエクソーム解析を用いた日本人骨形成不全患者 47 名の網羅的遺伝子解析と表現型解析  
大幡 泰久 (大阪大学大学院 医学系研究科 小児科学)
- ☆ O-08 BMP シグナル標的遺伝子 *Atoh8* はマウス成獣の骨量を増加させる  
八尋 雄平 (鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 医療関節材料開発講座)
- O-09 骨芽細胞培養系を用いた終末糖化産物によるリジルオキシダーゼ発現抑制機序の解析  
石塚 綾 (東洋大学大学院 食環境科学研究科)

## 第4会場（長崎新聞文化ホール 真珠の間）

### 口演 02 口腔・顎・骨病変 9:10～10:00

座長：安倍 正博（徳島大学大学院 医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学分野）  
北澤 理子（愛媛大学医学部附属病院 病理診断科）

- ☆ O-10 ヒストンメチル化は下顎頭吸収に関わる  
浮田万由美（北海道大学大学院 歯学研究院 冠橋義歯補綴学教室）
- O-11 骨吸収抑制薬と抗癌剤の併用投与がマウス抜歯窩治癒に与える影響  
早野 博紀（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 口腔インプラント学分野）
- O-12 がん細胞由来分泌型マイクロRNAによる骨転移微小環境制御機構の解明  
橋本 恭子（東京医科歯科大学大学院 歯医学総合研究科 細胞生理学分野）
- O-13 TAK1阻害は骨髄腫細胞と骨髄相互作用を抑制し、腫瘍進展と骨病変形成を抑制する  
寺町 順平（徳島大学大学院 医歯薬学研究部 組織再生制御学）
- O-14 カテプシンK阻害による多発性骨髄腫骨病変部の骨量回復プロセスにおける骨細胞の役割  
日浅 雅博（徳島大学大学院 医歯薬学研究部 口腔顎顔面矯正学分野）

### 口演 03 リウマチ・関節症 10:00～10:40

座長：山岡 邦宏（慶應義塾大学 リウマチ膠原病内科）  
齋藤 琢（東京大学大学院 医学系研究科 整形外科学）

- ◎ O-15 CTLA4-Igによる破骨細胞直接抑制機序の解明および臨床効果の検証  
岡田 寛之（東京大学 整形外科）
- O-16 エピジェネティック制御因子 Uhrf1は関節炎病態の抑制に働く  
佐伯 法学（愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門）
- ☆ O-17 抗フラクタルカイン抗体の破骨前駆細胞浸潤抑制による関節破壊抑制効果  
石井 直人（株式会社カン研究所）
- O-18 アンジオテンシンIIはアンジオテンシンIIタイプ2受容体(AT2R)を介して関節炎マウスの骨破壊を増悪させる  
三戸 崇史（川崎医科大学 リウマチ・膠原病学）

第1日 7月26日(木) 午後

第3会場 (長崎新聞文化ホール 珊瑚の間)

口演 04 メカニカルストレス・骨細胞 15:50 ~ 17:20

座長：上岡 寛 (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 歯科矯正学分野)

飯村 忠浩 (愛媛大学)

- O-19 カルシウム感知受容体活性型変異マウスにおける骨強度の低下  
遠藤 逸朗 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部 血液内分泌代謝内科学)
- O-20 力学的刺激はPiezo1 チャンネルによる  $Ca^{2+}$  流入と電位依存性  $Ca^{2+}$  チャンネル活性化を介して力学的刺激伝達機構を活性化させる  
納富 拓也 (大阪歯科大学 薬理学講座)
- O-21 身体不活動と任意走行運動が糖尿病モデルラット OLETF にもたらす全身性の変化を非侵襲的に評価する試み  
田中 佑樹 (東京大学大学院 理学系研究科 地殻化学実験施設)
- O-22 メカニカルストレスが筋・骨連関に及ぼす影響におけるアイリシンの役割  
河尾 直之 (近畿大学医学部 再生機能医学)
- O-23 メカニカルストレスに適応した骨アパタイト配向化とヤング率の上昇  
石本 卓也 (大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻)
- O-24 テリパラチド週1回投与後の卵巣摘除サル腰椎椎体海綿骨では新生骨が形成され、石灰化度、結晶化度、背腹方向のコラーゲン線維配向性が向上することで剛性が増す  
木村-須田廣美 (千歳科学技術大学大学院 光科学研究科)
- ☆ O-25 重力が歯と骨の恒常性に及ぼす作用－メダカを用いた加重力実験  
茶谷 昌宏 (昭和大学歯学部 歯科薬理学講座)
- O-26 低出力パルス超音波 (LIPUS) が半月板に与える影響  
釜付 祐輔 (岡山大学大学院 整形外科)
- O-27 骨細胞特異的なNF1 遺伝子の欠損はFGF23を上昇させる  
神谷 宣広 (天理大学 体育学研究科)

## 第4会場（長崎新聞文化ホール 真珠の間）

### 口演 05 幹細胞と硬組織再生 15:50～16:40

座長：梶 博史（近畿大学医学部 再生機能医学）

黒嶋伸一郎（長崎大学生命医科学域 口腔インプラント学分野）

O-28 骨修復早期には組織線溶系を介する骨髄造血幹細胞誘導に TGF- $\beta$  が関与する  
岡田 清孝（近畿大学医学部 基礎医学部門研究室）

O-29 糖尿病による骨修復遅延でのマクロファージ機能低下における Plasminogen Activator Inhibitor-1 (PAI-1) の役割  
下出 孟史（近畿大学医学部 再生機能医学教室）

O-30 3Dスフェロイド形成による未分化能の獲得と Wnt/beta-catenin 経路の活性化を介した骨形成促進  
今村 彩香（福岡歯科大学 再生医学研究センター）

O-31 ヒト iPS 細胞由来骨芽細胞による配向化骨基質の形成  
小笹 良輔（大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻）

O-32 成長板軟骨の付加成長に関わる新たな軟骨前駆細胞群の同定  
宇佐美 悠（大阪大学大学院 歯学研究科 口腔病理学）

### 口演 06 骨形成 16:40～17:20

座長：保田 尚孝（オリエンタル酵母工業株式会社 長浜生物科学研究所）

古賀 貴子（昭和大学歯学部 歯科薬理学）

O-33 Runx2 による頭蓋冠形成制御機構  
秦 Xin（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 生命医科学講座 細胞生物学分野）

O-34 全エクソーム解析により変異を同定した2型コラーゲン異常症の4家系  
山本 賢一（大阪大学大学院 医学系研究科 小児科学）

O-35 Osteoadherin の骨芽細胞における発現とその制御機構  
浜谷 絵里（北海道大学大学院 歯学研究院 歯科麻酔学教室）

O-36 創薬応用を目指したヒト iPS 細胞による in vitro 骨形成過程再現系の構築  
川井 俊介（京都大学 iPS 細胞研究所）

## 第2日 7月27日(金) 午前

### 第3会場 (長崎新聞文化ホール 珊瑚の間)

口演 07 CKD/くる病・ホルモン 8:30～10:00

座長：今西 康雄 (大阪市立大学大学院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学)

難波 範行 (地域医療機能推進機構 (JCHO) 大阪病院小児科)

- O-37 成人 X 染色体連鎖性低リン血症性くる病・骨軟化症 (XLH) 患者を対象とした、抗 FGF23 抗体プロスマブの有効性及び安全性を評価する無作為化二重盲検プラセボ対照 第 III 相臨床試験及び非盲検継続投与試験  
田中 弘之 (岡山済生会総合病院 小児科)
- O-38 腫瘍性骨軟化症における原因腫瘍摘出後の骨代謝マーカー・骨密度の変化について  
林 礼行 (大阪市立大学大学院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学)
- O-39 食餌性リンは Nuclear factor-E2-related factor 2 を介し酸化ストレス応答・解毒関連遺伝子の発現を調節する  
山本 浩範 (仁愛大学人間生活学部 健康栄養学科)
- O-40 急性腎障害後のミネラル代謝異常における FGF23 の病態生理学的役割  
駒場 大峰 (東海大学医学部 腎内分泌代謝内科)
- O-41 EFFECTS OF BUROSUMAB, AN ANTI-FGF23 ANTIBODY, IN PATIENTS WITH TUMOR-INDUCED OSTEOMALACIA: RESULTS FROM AN ONGOING PHASE 2 STUDY  
伊東 伸朗 (東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科)
- ◎ O-42 FGFR1 は FGF23 濃度を制御する骨におけるリン感知分子である  
高士 祐一 (徳島大学先端酵素学研究所 糖尿病臨床・研究開発センター)
- O-43 腸管生物時計によるビタミン D/カルシウム代謝制御機構  
川井 正信 (大阪母子医療センター 研究所 環境影響部門)
- O-44 骨芽細胞の性差に関与する遺伝子の網羅的解析と Serpina3n の役割  
石田 昌義 (近畿大学医学部 再生機能医学教室)
- O-45 進行性骨化性線維異形成症 (FOP) モデルマウスを用いた抗 ALK2 抗体の解析  
片桐 岳信 (埼玉医科大学ゲノム医学研究センター 病態生理部門)

## 第4会場（長崎新聞文化ホール 真珠の間）

口演 08 軟骨・筋・腱・靭帯 8:30～10:00

座長：宿南 知佐（広島大学大学院 医歯薬保健学研究所 医歯薬学専攻  
生体分子機能学）

波多 賢二（大阪大学大学院 歯学研究科 生化学教室）

◎☆O-46 Adamts17は microfibril 形成を介して TGF- $\beta$  シグナルを調整し、骨格成長に関与する  
尾市 健（東京大学医学部 整形外科）

◎☆O-47 Runx3は関節軟骨に保護的に作用する  
永田 向生（東京大学 整形外科 医学系大学院）

O-48 軟骨特異的遺伝子 SOX9 の enhancer を含んだ転写複合体の解明  
望月 祐輔（東京医科歯科大学医歯学総合研究科 システム発生再生医学分野）

O-49 骨軟骨形成における Rho ファミリー低分子量 G タンパク質 Rac1 と Cdc42 の機能解析  
池畑美紀子（昭和大学歯学部 口腔生化学講座）

O-50 シュワン細胞可視化マウスにおける脛骨近位骨端の痛覚神経の解析  
姫しゅうてい（慶應義塾大学医学部 細胞組織学教室）

◎ O-51 Annexin A5 は細胞特異的な ATP 代謝経路の調節を介し、筋張力誘導性の腱・靭帯付  
着部（enthesis）石灰化を抑制する  
出野 尚（鶴見大学歯学部 薬理学講座）

O-52 エピゲノム制御因子 Uhrf1 は筋分化を正に制御する  
沢田雄一郎（愛媛大学医学部 器官形態領域学 泌尿器科講座）

O-53 新規骨折リスク関連遺伝子 FAM201A の筋、骨組織における重要性の検討  
田中賢一郎（島根大学医学部 内科学講座 内科学第一）

O-54 インスリン様成長因子-1濃度の減少はアグルトマウスにおいて骨格筋萎縮をきたす  
中村 賢（慶應義塾大学医学部 整形外科）

第3日 7月28日(土) 午後

第3会場(長崎新聞文化ホール 珊瑚の間)

口演 09 骨吸収 12:30 ~ 14:00

座長: 自見英治郎(九州大学歯学研究院 OBT 研究センター)

篠原 正浩(東京医科歯科大学)

- ◎ O-55 Novel Osteoblast-Lineage Specific Cell-Surface Antigen Possibly Regulating Osteoclastogenesis and Calcification  
破骨細胞形成と石灰化を制御する可能性を有する新規骨芽細胞膜表面抗原  
Tamer Badawy (Department of Molecular Cell Biology and Oral Anatomy, Faculty of Dental Science, Kyushu University, Japan)
- O-56 Wnt5a-Ror2 シグナルは、Daam2-Rho-Pkn3-c-Src 経路を介して破骨細胞の骨吸収を促進する  
上原 俊介(松本歯科大学歯学部 口腔生化学講座)
- ☆ O-57 アクチン重合の制御因子プロフィリン1を欠損するマウス破骨細胞は遊走・分化・骨吸収の亢進により溶骨症性骨変形を生じさせる  
梶川 修平(東京医科歯科大学難治疾患研究所 フロンティア研究室骨分子薬理学)
- O-58 終末糖化産物 AGE-3 は IL-10 発現誘導を介して RANK 発現を抑制しヒト破骨細胞分化を阻害する  
田中 健一(産業医科大学 第1内科学講座)
- O-59 破骨細胞はスクレロスチン発現の抑制を介して海綿骨の骨形成を促進する  
小出 雅則(松本歯科大学 総合歯科医学研究所 硬組織疾患制御再建学部門)
- O-60 Zscan10 は Haptoglobin の転写を介して破骨細胞分化を負に制御する  
柳原 裕太(愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門)
- ☆ O-61 活性イオウ分子種は破骨細胞分化を促進する  
十九浦リサ(昭和大学歯学部 口腔生化学講座)
- O-62 破骨細胞に発現する Siglec-15 の中和抗体は骨吸収を抑制しながら骨芽細胞の分化を促進する  
宇田川信之(松本歯科大学 口腔生化学講座)
- O-63 ヒストンメチル化酵素 G9a は破骨細胞分化を負に制御する  
小松浩一郎(鶴見大学歯学部 薬理学講座)

## 第4会場（長崎新聞文化ホール 真珠の間）

口演 10 骨粗鬆症 12:30～14:00

座長：岡崎 亮（帝京大学ちば総合医療センター 第三内科）

矢野 彰三（島根大学医学部 臨床検査医学講座）

◎☆O-64 卵巣摘除ラットの痛覚過敏に対するテリパラチドの改善作用および神経特異的バイオシグナルの同定

田中 智哉（愛媛大学大学院 医学系研究科 病態機能解析分野）

O-65 DXA や QUS により骨微細構造を予測することは可能か：HR-pQCT による健常人研究  
岡崎 成弘（長崎大学病院 整形外科）

O-66 卵巣摘除マウスの疼痛行動に対するテリパラチドの早期作用機序 - 炎症性サイトカイン拮抗薬投与における検討 -  
花香 恵（札幌医科大学 整形外科）

O-67 卵巣摘出ラットにおける選択的エストロゲン受容体モジュレーターと低強度有酸素運動の骨と脂肪に対する効果  
湯浅 悠介（秋田大学大学院 整形外科学講座）

O-68 男性における骨微細構造および骨代謝マーカーの加齢変化：HR-pQCT による解析  
千葉 恒（長崎大学医歯薬学総合研究科 整形外科）

O-69 小児骨粗鬆症に対する Siglec-15 分子標的治療の有用性 - 成長骨格発達に影響の生じない骨吸収抑制薬の開発 -  
佐藤 大（北海道大学大学院 整形外科学分野）

O-70 ビスホスホネートは宇宙ステーション長期滞在による骨粗鬆症のみならず尿路結石リスクも減少させる  
岡田 淳志（名古屋市立大学大学院 医学研究科 腎・泌尿器科学分野）

O-71 後肢非荷重骨粗鬆症疼痛モデルマウスを用いたテリパラチドの治療効果および免疫組織学的検討  
宮村 岳（三重大学 整形外科）

O-72 神経性やせ症における橈骨遠位部の骨微細構造の解析  
松林 昌平（長崎大学病院 整形外科）

# ポスター演題

(p.163)

第1日 7月26日(木) 13:30～14:30

ポスター会場(長崎新聞文化ホール)

## ポスター01 骨形成1

座長: 二藤 彰(鶴見大学歯学部)

- ⊙ P1-01 胎仔期の骨髓腔形成に寄与する破骨細胞誘導細胞の同定  
住谷瑛理子(北海道大学遺伝子病制御研究所 感染病態分野)
  
- ⊙ P1-02 オステオカルシンはアパタイト結晶のコラーゲン線維に沿った配向に必須であり、長軸方向の骨強度を維持する  
森石 武史(長崎大学医歯薬学総合研究科 細胞生物学分野)
  
- P1-03 成長板を発生起点とするヘッジホッグシグナル受容細胞の骨格形成への関与  
原口 竜摩(愛媛大学・医・分子病理)
  
- ☆ P1-04 骨表現型スクリーニングで選別した Tmem161a 遺伝子トラップマウスは明らかな骨量増加を呈する  
永井 琢哉(宮崎大学医学部 整形外科)
  
- P1-05 マウス腓骨における骨形成部位は成長に伴い変移する  
依田 昌樹(慶應義塾大学医学部 細胞組織学研究室)
  
- P1-06 可変型遺伝子トラップ法を用いた新規骨代謝関連遺伝子群の網羅的機能解析  
山口洋一郎(宮崎大学医学部 整形外科)
  
- P1-07 Osteocrin は長管骨形成を制御する骨膜ホルモンである  
高野 晴子(国立循環器病研究センター研究所 細胞生物学部)
  
- P1-08 骨形成におけるゴルジ体キナーゼ Fam20C の役割  
廣瀬 勝俊(大阪大学歯学部 歯学研究科 口腔病理学教室)
  
- P1-09 骨再生の足場となる新規自己集合体ペプチドの検証  
安藤 圭(名古屋大学大学院 医学系研究科 総合医学専攻運動・形態外科学)

## ポスター 02 シグナル・転写因子・幹細胞・硬組織再生

座長：田村 正人（北海道大学大学院 歯学研究院 口腔分子生化学教室）

- P1-10 Wnt3a 制御下における miRNA の骨芽細胞分化解析  
伏見 滋子（川崎医科大学 公衆衛生学）
- P1-11 KLF4 は軟骨細胞において HDAC3 を介して MMP13 の発現を制御する  
鬼頭 昭吉（大阪大学大学院 歯学研究科 口腔解剖学第一教室）
- P1-12 ビタミン A- レチノイン酸受容体シグナルは骨芽細胞遊走能を向上させる  
植田 智恵（大阪歯科大学 歯学部）
- P1-13 Plasminogen activator inhibitor-1 (PAI-1) は間葉系幹細胞からの骨分化に関与する  
高藤 義正（近畿大学医学部 再生機能医学教室）
- P1-14 骨分化の新規ハイスループットスクリーニング系樹立の試み  
奈良井 節（鳥取大学医学部 感覚運動医学講座 口腔顎顔面病態外科学分野）

## ポスター 03 口腔・硬組織病変 1

座長：吉村 篤利（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 歯周歯内治療学分野）

- ☆ P1-15 Mechanical signals influence circadian clock genes in murine osteocytes: implications for spatial distribution of sclerostin  
王 紫儀（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 歯科矯正学分野）
- P1-16 HLA ハプロタイプホモ iPS 細胞からのエクソソームの精製  
清水 雄太（朝日大学歯学部 口腔感染医療学講座歯周病学分野）
- P1-17 好中球と破骨細胞が骨創傷治癒に与える影響  
杉原 明通（福岡歯科大学 咬合修復学講座）
- P1-18 歯根膜から分泌される Sclerostin はパラクリン作用を介して骨細胞の SOST/Sclerostin 発現を制御する  
小田垣直弥（岡山大学病院 矯正歯科）
- P1-19 歯周病モデルマウスに対する抗 RANKL 抗体の歯槽骨破壊抑制効果  
栗谷 未来（昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 障害者歯科）
- P1-20 矯正力負荷時における歯根周囲骨代謝への塩化リチウムの影響－ラットを用いた実験－  
佛坂 齊社（長崎大学医歯薬学総合研究科 歯科矯正学分野）

- P1-21 マクロファージと破骨細胞の減少が骨創傷治癒に与える影響  
平野 雅裕 (福岡歯科大学 咬合修復学講座)
- P1-22 コレステロール結晶は RAW-D 細胞の破骨細胞形成を促進する  
Montenegro Raudales Jorge Luis (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科  
歯周病学分野)
- P1-23 血管新生抑制と骨創傷治癒  
藤本 啓貴 (福岡歯科大学 咬合修復学講座)

#### ポスター 04 メカニカルストレス・骨細胞

座長：上岡 寛 (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 歯科矯正学分野)

- P1-24 石灰化骨は、一次石灰化終了後も力学的負荷により可塑性を生じる  
宮本 諭 (大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学 (整形外科))
- P1-25 ラット上顎骨に埋入されたスレッドインプラント周囲における荷重の影響  
右藤 友督 (長崎大学生命医科学域 (歯学系) 口腔インプラント学分野)
- P1-26 コラーゲン線維構築を阻害することで生じる骨細胞形態の変化  
橋本 真奈 (岡山大学病院 矯正歯科)
- P1-27 骨細胞様 MLO-Y4-A2 細胞においてバゼドキシフェンはホモシステインによるアポトーシスを抑制する  
野津 雅和 (島根大学医学部 内科学講座 内科学第一)

#### ポスター 05 CKD/くる病・ホルモン 1

座長：高士 祐一 (徳島大学 先端酵素学研究所)

- P1-28 妊娠前における食餌性リン負荷が新生仔マウスのリン代謝調節系に及ぼす影響  
林 真由 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部 臨床食管理学分野)
- P1-29 Phytic acid can be a novel inhibitor of ectopic calcification  
Ahmed Faisal (広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 硬組織代謝生物学)
- P1-30 18歳時より開始した酵素補充療法が難治性脛骨偽骨折に対し有効であった周産期良性型低ホスファターゼ症の一例  
古家美菜絵 (東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科)
- P1-31 細胞外リン濃度の上昇は FGF シグナルを介し、細胞外マトリックスタンパク質 Nephronectin の発現を抑制する  
加藤 憲 (昭和大学歯学部 口腔生化学講座)

- P1-32 *Fgf23* 遺伝子欠損マウスの骨基質石灰化異常における SIBLING family の局所作用  
長谷川智香（北海道大学歯学研究院 硬組織発生生物学教室）
- P1-33 基質小胞性石灰化および骨芽細胞機能における III 型ナトリウム / リン酸共輸送担体の役割  
山崎 美和（地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 研究所  
環境影響部門）
- P1-34 細胞外液リン量に応答する ATP 依存性カルシウム吸収機構の検討  
山中 仁木（信州大学 基盤研究支援センター）

#### ポスター 06 軟骨・筋・腱・靭帯 1

座長：波多 賢二（大阪大学大学院 歯学研究科 生化学教室）

- P1-35 亜鉛トランスポーターの骨格形成における役割の解析  
安原 理佳（昭和大学歯学部 口腔病態診断科学講座 口腔病理学）
- P1-36 IL-6 受容体は間葉系幹細胞軟骨細胞分化を促進し、欠損関節軟骨の修復をもたらす  
山形 薫（産業医科大学医学部 第1内科学講座）
- P1-37 軟骨細胞、骨芽細胞分化に UCA1 長鎖ノンコーディング RNA が与える影響  
石川 崇典（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 口腔生化学分野）
- P1-38 マウス線維芽細胞増殖因子 9 の N143T 変異は長管骨を太くする  
原田 理代（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 臨床解剖学分野）
- P1-39 ADAM12 は RUNX2 を介した軟骨細胞肥大化の制御に重要である  
堀田 昌宏（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 整形外科）
- P1-40 軟骨細胞における CCN3 遺伝子の糖代謝を介した制御  
明石 翔（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 口腔生化学分野）
- P1-41 アルデヒド脱水素酵素 2 (Aldh2) 遺伝子欠損マウスは、メカニカルストレスによる変形性関節症モデルで関節軟骨変性が進行する  
岡田 祥明（産業医科大学 整形外科）

#### ポスター 07 骨吸収 1

座長：宇田川信之（松本歯科大学 生化学講座）

- ☆ P1-42 LIS1 は M-CSF・RANKL シグナルと CDC42 を介して破骨細胞分化を制御する  
藤原 稔史（九州大学医学部 整形外科）

- P1-43 軟骨細胞、および脂肪細胞由来の細胞外小胞 (EVs) は骨代謝バランスの調節に関与しているかもしれない  
眞田 洋平 (広島大学病院 未来医療センター 再生医療部)
- P1-44 Lipoteichoic acid による TLR2/6 誘導性の骨吸収における PGE<sub>2</sub> の関与  
富成 司 (東京農工大学大学院 工学府 生命工学専攻)
- P1-45 Identification of IL-27 as potent regulator of osteolysis leads to aseptic loosening  
Mohamad Alaa Terkawi (Department of Orthopedic Surgery, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Japan)
- P1-46 黄色ブドウ球菌のプロテイン A と IgG 複合体による骨破壊促進機構  
蒲原 麻菜 (佐賀大学医学部 微生物学)
- P1-47 低出力超音波パルスによって誘導される破骨細胞前駆細胞の細胞死と TAZ の活性化  
青山絵理子 (岡山大学医歯薬学総合研究科 歯学部先端領域研究センター)
- P1-48 用量変化による Equol 鏡像異性体の骨代謝調節作用に対する差異の検討  
井上 博文 (東京農業大学応用生物科学部 食品安全健康学科)

### 第 3 日 7 月 28 日 (土) 10:20 ~ 11:20

#### ポスター会場 (長崎新聞文化ホール)

##### ポスター 08 骨形成 2

座長：前田 真吾 (鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 医療関節材料開発講座)

- P2-01 KLF4 は一次繊毛におけるヘッジホッグシグナルを介して骨芽細胞の分化を抑制する  
竹内 優斗 (阪大 院歯 顎顔面口腔矯正学教室)
- P2-02 頭蓋瘍と低 ALP 血症を合併した鎖骨頭蓋異形成症の新生児例  
山下 純英 (田附興風会医学研究所北野病院 小児科)
- P2-03 分子量の相違による魚由来コラーゲンペプチドの骨芽細胞培養系におけるコラーゲン翻訳後修飾関連酵素に対する影響  
山田志津香 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 齶蝕学分野)
- P2-04 骨代謝制御機構における AKAP13 の機能的役割  
石田 晶子 (千葉大学大学院 医学研究院 細胞治療内科学)

- P2-05 Povidone-Iodine と Ethanol が骨に与える影響とハイドロキシアパタイト / コラーゲン複合体による骨癒合促進効果  
長幡 樹 (秋田大学医学部附属病院 整形外科)
- P2-06 新たな骨芽細胞分離法の開発  
浅野 洋介 (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学)
- P2-07 骨芽細胞増殖は骨形成には必須であるが、PTH 投与による骨同化作用においては必須でない  
高橋 晃 (東京医科歯科大学附属病院 整形外科)

## ポスター 09 口腔・硬組織病変 2

座長：黒嶋伸一郎 (長崎大学生命医科学域 口腔インプラント学分野)

- P2-08 ビスフォスフォネート製剤関連顎骨壊死の有病率は抗癌剤の濃度依存性に増大する  
黒嶋伸一郎 (長崎大学生命医科学域 口腔インプラント学分野)
- P2-09 象牙芽細胞の枯渇は修復象牙質を誘導する  
趙 麗娟 (松本歯科大学 総合歯科医学研究所)
- P2-10 悪性黒色腫の骨転移における HB-EGF 誘導性 EGFR シグナルの関与  
渡邊 健太 (東京農工大学 グローバルイノベーション研究院)
- P2-11 TLR7 リガンドの R848 は悪性黒色腫細胞の骨浸潤を抑制する  
馬目 瑤子 (昭和大学歯学部 口腔生化学講座)
- P2-12 TAK1 阻害は TRAIL による破骨細胞活性化作用を遮断させると同時に TRAIL の抗骨髄腫作用を増強する  
天真 寛文 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部 口腔顎顔面矯正学分野)
- P2-13 癌関連糖鎖抗原シアリル Tn 発現による乳癌細胞の機能変化 - 転移性骨癌成立への影響 -  
藤田 諒 (北海道大学大学院 医学研究院 専門医学系部門 機能再生医学分野)

## ポスター 10 関節リウマチ・変形性関節症

座長：吉村 典子 (東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター ロコモ予防学講座)

- P2-14 転写因子 Sox4 は ADAMTS4 および ADAMTS5 の発現を誘導して変形性関節症の発症に関与する  
高畑 佳史 (大阪大学大学院 歯学研究科 生化学教室)
- P2-15 変形性股関節症の発生率：10 年間の地域追跡コホートより  
飯高 世子 (東京大学 22 世紀医療センター ロコモ予防学講座)

- P2-16 骨粗鬆症の病態が変形性関節症の疼痛発症に及ぼす影響 –膝 OA モデルマウスを用いた検討–  
清本 憲太 (札幌医科大学医学部 整形外科)
- P2-17 樹状細胞による Fas 非依存的 T 細胞のアポトーシスが MRL/lpr マウスにおける自己免疫性関節炎を制御する  
井澤 俊 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部 口腔顎顔面矯正学分野)
- P2-18 HR-pQCT による変形性膝関節症に対する軟骨下骨微細構造解析  
白石 和輝 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 整形外科学)

## ポスター 11 CKD/くる病・ホルモン 2

座長：伊東 伸朗 (東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科)

- P2-19 いわゆる生理的 O 脚児は正常児と比較してビタミン D 不足である  
坂本 優子 (順天堂大学医学部附属 練馬病院)
- P2-20 腰痛や関節痛を生じた低リン血症の検討  
粕川 雄司 (秋田大学大学院 医学系研究科 医学専攻機能展開医学系 整形外科学講座)
- P2-21 GLUT 阻害剤 phloretin はグルコース取り込みとは独立してマウス骨髄間葉系細胞 ST2 の骨芽細胞および脂肪分化を制御する  
竹野 歩 (島根大学医学部 内科学講座内科学第一)
- P2-22 原発性副甲状腺機能亢進モデルにおいて、Sclerostin 低下は骨組織における Fgf23 発現を増加させる間接的経路の 1 つである  
永田 友貴 (大阪市立大学大学院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学)
- P2-23 ヒト副甲状腺において 25 水酸化ビタミン D はメガリンおよび 1 $\alpha$  水酸化酵素を介して PTH 遺伝子発現を抑制する  
宮岡 大知 (大阪市立大学大学院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学)
- P2-24 局所性 Renin-Angiotensin System を介し Angiotensin II が軟骨基質産生に与える影響  
西田 崇 (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 口腔生化学分野)

## ポスター 12 軟骨・筋・腱・靭帯 2

座長：秋山 治彦 (岐阜大学医学部 整形外科)

- P2-25 膜タンパク質 Ten-m/Odz3 は FGF2 による RhoA 活性制御を介して ATDC5 のアクチン再構成、遊走、分化を促す  
竹下 信郎 (東北大学大学院 歯学研究科 口腔保健発育学講座 顎口腔矯正学分野)

- P2-26 椎体骨は、骨吸収と骨形成が6ヶ月の間を置きカップリングを示した－ MDCT 画像を用いた骨形態計測  
南郷 脩史 (ラトックシステムエンジニアリング株式会社)
- P2-27 軟骨無形成症モデルマウスに生じた顎顔面形態異常に対する C 型ナトリウム利尿ペプチドの有効性について 第4報  
山中 茂樹 (京都大学 口腔外科)
- P2-28 軟骨無形成症患者における思春期以降の QOL の検討  
松下 雅樹 (名古屋大学医学部 整形外科)
- P2-29 Fibrosis control using cyclooxygenase 2 inhibitor in fibroblast from ligamentum flavum  
Seong-hwan Moon (Department of orthopaedics, Yonsei university collage of medicine, Korea)
- P2-30 ホメオティック遺伝子に着目した身体部位特異的な筋再生能制御のメカニズム解明  
吉岡 潔志 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 硬組織疾患基盤研究センター 筋骨格分子生物学研究グループ)
- P2-31 筋・腱細胞は筋幹細胞の分化制御に寄与するか?  
土屋 吉史 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 硬組織疾患基盤センター 筋骨格分子生物学研究グループ)
- P2-32 BMP-3b による骨格筋幹細胞分化制御機構  
古株彰一郎 (九州歯科大学 分子情報生化学分野)

### ポスター 13 骨吸収 2

座長：保田 尚孝 (オリエンタル酵母工業株式会社 長浜生物科学研究所)

- P2-33 破骨細胞のアクチンリング形成における Src と Hck の重複した役割  
松原 琢磨 (九州歯科大学 分子情報生化学分野)
- P2-34 インプラントの無菌性緩みにおける溶骨性病変とマクロファージ由来のチミジンホスホリラーゼとの関連について  
松前 元 (北海道大学大学院 医学研究院 専門医学系部門 機能再生医学分野 整形外科学教室)
- P2-35 破骨細胞分化因子受容体 RANK のプロモータ領域メチル化による発現制御  
北澤 理子 (愛媛大学医学部附属病院 病理診断科)

- P2-36 片側および両側非定型大腿骨骨折の比較  
木下 隼人 (秋田厚生医療センター 整形外科)
- P2-37 破骨細胞分化制御における Galectin-9/Tim-3 シグナルの関与  
久本由香里 (九州大学大学院 歯学研究院 分子口腔解剖学)
- P2-38 ヘリオキサンチン誘導体による破骨細胞分化抑制は NO 産生と PDE 阻害を介する  
天野 均 (大阪歯科大学歯学部 薬理学講座)

#### ポスター 14 原発性骨粗鬆症

座長：千葉 恒 (長崎大学医歯薬学総合研究科 整形外科)

- P2-39 マウスに abaloparatide または teriparatide を皮下投与した時の骨量及び骨代謝に及ぼす作用の比較  
槇野 彰人 (帝人ファーマ株式会社 薬理研究部)
- P2-40 骨粗鬆症患者に対するデノスマブ投与中断に関連する因子の検討  
太田 周介 (国立病院機構静岡医療センター 整形外科)
- P2-41 原発性骨粗鬆症に対しデノスマブ投与で長期にわたって効果的に骨密度を上げる工夫～5年600例の投与経験から～  
後藤 礼大 (北海道厚生連網走厚生病院 整形外科)
- P2-42 全手根骨+全中手骨を関心領域とする骨密度・第3報 歩行に際し上肢に荷重を必要とする症例での検討  
佐々木正造 (汐田総合病院 整形外科)
- P2-43 超高齢者におけるデノスマブの効果  
佐々木 聡 (東成瀬村国民健康保険診療所)
- P2-44 椎体骨折をともしない骨量減少領域患者に対する SERM の効果  
池田 光正 (近畿大学医学部 整形外科)

#### ポスター 15 続発性骨粗鬆症

座長：高見 正道 (昭和大学)

- P2-45 HR-pQCT を用いた関節炎における骨破壊左右差の検討  
田中 郁子 (医療法人 IRO 名古屋膠原病リウマチ痛風クリニック)
- P2-46 パーキンソン病モデルマウスの骨代謝の解析  
飯田 和章 (昭和大学歯学部 歯科薬理学講座)

- P2-47 Implication of bone turnover marker follow-up during antiresorptive therapy in patients with active rheumatoid arthritis on immunosuppressive agents  
Seonghoon Park (Department of medicine, Catholic university of Daegu, School of medicine, Republic of Korea)
- P2-48 産後2ヵ月で多発性脊椎圧迫骨折を発症した妊娠授乳関連骨粗鬆症の1例  
五味 基央 (順天堂大学浦安病院 整形外科)

# Student-Resident Poster 演題

7月28日(土) 10:20～11:20

ポスター会場(長崎文化ホール)

座長: 中野 貴由(大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻)

- SRP-1 Runx2の新規標的遺伝子の同定と機能解析  
若森 幹太(大阪大学大学院 歯学研究科 生化学教室)
- SRP-2 大腿骨近位部骨折の手術後の対側骨折のリスク因子の検証  
石津 帆高(北海道大学大学院 医学研究院 整形外科)
- SRP-3 TGF  $\beta$ によるRunx3を介した骨肉腫の進展  
上野 智也(長崎大学大学院 医歯薬総合研究科 分子硬組織生物学)
- SRP-4 歯石はマウスマクロファージのIL-1  $\beta$ 産生を誘導してRAW-D細胞の破骨細胞形成を促進する  
前 めぐみ(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 歯周歯内治療学分野)
- SRP-5 マウス滑膜細胞初代培養条件の検討  
杉本 光(東京大学医学部 医学科)
- SRP-6 生体イメージングによる破骨細胞の骨吸収動態の画像解析  
柳澤 篤(大阪大学大学院 医学系研究科 免疫細胞生物学教室)
- SRP-7 前立腺癌の骨転移におけるプロスタグランジン E2受容体の関与  
市村 健太(東京農工大学工学部 生命工学科)

Student-Resident Poster 演題の抄録は、下記の大会 WEB サイト内「プログラム」ページよりご確認ください。  
ご確認にはパスワードの入力が必要です。

(大会 WEB サイト)

<http://www2.convention.co.jp/36jsbmr/program.html>

(ID)

36jsbmr

(パスワード)

36jsbmr-srp